

## 漢字に関するCan-do Statements調査から見えてくるもの : 漢字の知識と運用力についての学習者意識

|          |  |
|----------|--|
| 著者       | 加納 千恵子   |
| 雑誌名      | 筑波大学留学生センター日本語教育論集   |
| 号        | 29   |
| ページ      | 71-92  |
| 発行年      | 2014-02  |
| その他のタイトル | A Study on Can-do Statements of Kanji : a survey of learners' self-awareness concerning Kanji knowledge and working knowledge of Kanji |
| URL      | <a href="http://hdl.handle.net/2241/121204">http://hdl.handle.net/2241/121204</a>  |

# 漢字に関するCan-do Statements調査から見えてくるもの

## — 漢字の知識と運用力についての学習者意識 —

加納 千恵子

### 要 旨

近年、世界の第二言語教育において、言語知識よりも実際のコミュニケーション場面における言語の運用能力を評価しようとする動きが一般化しつつある。その中で、2種類の表音文字と表語文字である漢字を併用するという複雑な表記システムを有する日本語の特殊性をいかに考慮し、日本語によるコミュニケーション活動全体の中で漢字の能力をどのように位置づけるべきなのかを検討することが大きな課題となっている。その手始めとして、漢字に関する知識や漢字の運用能力について学習者自身がどのように「できる」と意識しているかを探るため、Can-do statements形式の質問紙を作成した。本稿ではその作成の経緯を述べ、漢字に関するCan-do statements調査から見えてくる学習者意識について考察した。調査の結果、漢字圏・非漢字圏による意識の違い、また自己の能力を課題評価あるいは過小評価する傾向に個人差があることなどが見られた。

【キーワード】 漢字 Can-do statements 言語知識 言語の運用能力 学習者意識

### A Study on Can-do Statements of Kanji: a survey of learners' self-awareness concerning kanji knowledge and working knowledge of kanji

KANO Chieko

[Abstract] Recently in world second-language education, assessment of learners' working knowledge of language in practical communication scenes has become more important than evaluating one's linguistic knowledge. The Japanese language is quite unique due to the use of two syllabaries, in addition to ideographic characters, that is, kanji. Therefore how to take this peculiarity into consideration, and how to position Japanese kanji ability within the rubric of communicative skills using Japanese language is recognized to be a big problem. As an initial effort at developing a solution, the author made a survey sheet in "Can-do statement" form to search for the learners' self-awareness concerning kanji knowledge and working knowledge of kanji. Different results were apparent for learners with kanji background as compared to those without it. And also, some individual variations were found for overestimating or underestimating one's ability.

[Keywords] Japanese Kanji, Can-do statements, linguistic knowledge, working knowledge of language, learners' self-awareness

## 1. はじめに

欧州評議会によるCEFR（言語のためのヨーロッパ共通参照枠）<sup>1</sup>、米国のナショナルスタンダード、国際交流基金による「JF日本語教育スタンダード」（以下「JFスタンダード」）<sup>2</sup>などのような言語の共通参照枠を作る動きが世界的に広まっており、そこでは言語知識よりも実際のコミュニケーション場面における言語運用能力を評価しようとする傾向が一般化しつつある。そして、そのような評価においては、Can-do statementsと呼ばれる能力記述文が使用されるようになってきている。

しかしながら、このような共通参照枠に日本語を当てはめようとする際に問題となるのが日本語の表記システムの特異性である。ヨーロッパ言語のみならず世界の多くの言語において、その表記は表音文字によるものがほとんどであるのに対して、日本語では、ひらがな・カタカナという2種類の表音文字を併用する上に、さらに表語文字（あるいは表形態素文字）である漢字の混用という複雑な表記システムを有している。CEFRや米国のナショナルスタンダードなどのように海外で開発された共通参照枠ばかりでなく、日本で開発された国際交流基金のJFスタンダードにおいてさえ、日本語のような文字表記の運用能力に関して、適切な位置付けがなされているとはいいがたい。漢字の知識や運用能力が日本語の語彙力や文法力、「読む」「書く」などの技能とどのように関わっているのか、また日本語によるコミュニケーション活動全体の中で漢字の能力をどのように位置づけるべきなのかを検討することが大きな課題となっているのである。

そこで、この問題を解決する糸口を探るため、漢字に関する知識や漢字の運用能力について学習者自身がどのように「できる」あるいは「できない」と意識しているかを探るという目的で、Can-do statements形式の調査紙を作成した。本稿ではその作成の経緯、および漢字に関するCan-do statements調査から見えてくる学習者意識について考察する。学習者の日本語の運用能力、漢字力、そして学習者意識がどのような関係にあるのかを探り、日本語教育における漢字力評価のあり方について提言するための一助としたい。

## 2. 日本語の「読み」「書き」と漢字の位置付け

国際交流基金が開設しているウェブサイト「みんなのCan-doサイト」<sup>3</sup>で公表されている、JFスタンダードおよびCEFRにおけるA1レベルの日本語の「読み（受容）」の言語活動についてのCan-do statements（【資料1】を参照）の中から抜粋したJFスタンダードの能力記述文を表1に示す。

たとえば、「郵便物やメールなどの宛名を見て、自分宛かどうかを確認することができる。」というJFスタンダードの能力記述文は、日本であれば、住所に使われている漢字が読める、自分の名前がカタカナで確認できるというような能力を表していると解釈できるだろう。しかし、海外にいる学習者にとって、これらは、アルファベットあるいはそこで使用

表1 JFスタンダードおよびCEFRのA1レベルの読み（受容）の能力記述例

| 種類   | レベル | カテゴリー      | Can-do本文  | トピック    |
|------|-----|------------|---|---------|
| JF   | A1  | 必要な情報を探し出す | 郵便物やメールなどの宛名を見て、自分宛かどうかを確認することができる。                             | 人との関係   |
| JF   | A1  | 情報や要点を読み取る | 店やレストランの外に貼ってある休業のお知らせなどを見て、休みであることやその期間など、ごく基本的な情報を理解することができる。 | 買い物     |
| JF   | A1  | 説明を読む      | ドアにある「押す」「引く」や、施設内の「入口」「出口」など、生活の中でよく見かける非常に短い表示を見て、理解することができる。 | 住まいと住環境 |
| JF   | A1  | 手紙やメールを読む  | 旅先からの家族や友人の短い簡単な文で書かれた葉書やメールなどを読んで、どこへ行ったか、何をしたかを理解することができる。    | 旅行と交通   |
| CEFR | A1  | 手紙やメールを読む  | 葉書の短い簡単なメッセージを理解することができる。                                       |         |

されている文字によっても達成できるタスクとなるため、必ずしも漢字やカタカナの知識を必要としないことも考えられる。同様に、「店やレストランの外に貼ってある休業のお知らせなどを見て、休みであることやその期間など、ごく基本的な情報を理解することができる。」という能力記述文も、海外にある日本料理店などを考えれば、日本語だけでなく、現地の言葉でも書かれている可能性があるため、必ずしも明確な能力記述文とはなっていない。一方、「ドアにある『押す』『引く』や、施設内の『入口』『出口』など、生活の中でよく見かける非常に短い表示を見て、理解することができる。」という能力記述文では、「押」「引」「入口」「出口」という漢字の知識を必要とすることが明らかであるが、これは明らかに日本を想定した場面であり、海外においてはそのような場面が日常的であるとは言い難い。

また、JFスタンダードの能力記述文にある「旅先からの家族や友人の短い簡単な文で書かれた葉書やメール」の場合は、旅先の地名の漢字が読めることも必要であろうが、CEFRの「葉書の簡単なメッセージを理解することができる」のような能力記述文では、誰がどこから出した葉書なのかによって、「簡単なメッセージ」の内容も異なる可能性があり、その内容によって必要となる文型や語彙そして文字も異なることが予想される。

A2レベルの能力記述文（【資料2】を参照）になると、「学園祭などの学校行事」や「四コマ漫画」など、場面やCan-doの内容がより具体的になっているが、実際にどのような文型や語彙が使われる内容なのかを特定することは容易ではないことがわかる。

これが、書き（産出）の言語活動に関する能力記述文（【資料3】を参照）となると、場面によって、また内容によって、さらに使用される文型や語彙、文字などにバリエーションが出てくるはずである。

一方、A1、A2の初級レベルでは、それほど多くの漢字や漢字語彙を知らなくても先述のような活動ができるとしても、中上級レベルとなって、日本語で書かれた雑誌や小説を読んだり、日本語でレポートを書いたりする段階になるまでには、相当数の語彙や漢字などの言語知識を身につける必要があることは明らかであろう。それらをどの段階でどのように学習させるかの指針を示す必要もあろう。

したがって、各レベルにおいて想定されている「読み」「書き」の具体的な場面や活動に即して、必要な漢字・漢字語彙を抽出するという作業も必要であろうが、それとは別に、中級段階になって必要となる読み書きにおいて使用頻度の高い漢字・漢字語彙のリストを想定し、それを効率的に達成するための漢字・漢字語彙配当を検討する必要もあると思われる。

そこで、日本語学習の途上で中級後半段階にいる学習者が、漢字および漢字語彙に関してどのようなことが「できている」と意識し、どのようなことは「できていない」と意識しているのかを探ることを考え、漢字に関する知識および運用力をCan-do statements (能力記述文、以下Cdsと略す) の形式で記述することを試みた。

### 3. 漢字に関する能力記述の試み

筑波大学留学生センターでは、週1回(75分)の漢字クラスの学習段階をK100からK800までの8レベルに分けて設定している。それぞれの段階で学習する項目を一覧にしたものを表2-1と表2-2に示す。

初級レベル(K100~K400)では、教材として『Basic Kanji Book』vol.1&2を使用しているが、この本に載っている漢字を学習させることが目的なのではなく、それらを素材として各レベルの学習目標を達成することを目指している。初級の学習目標は、学習者に漢字の表意性を理解させ、字形の構造的に気づかせ、漢字には複数の読みがあり、語彙としてその用法を習得していかなければならないことを教えることであり、最終的には自力で日常生活に必要な漢字を辞書などで調べたり、簡単な読み物を読んだり、簡単な作文が書けたりするようになることを目指している。そのために、各レベルで立てた学習項目を指導しながら、漢字語彙の読み練習や作文などの運用練習を行っている。

中級レベル(K500~K600)では、教材として『Intermediate Kanji Book』vol.1を使用しながら、この段階で学習者が感じる漢字の困難点を自覚させ、学習者の必要に応じて漢字語彙力を増強させることを目標としている。中級レベルに入るところで「漢字力診断テスト」<sup>4</sup>を行うことによって、学習者自身に自分の弱点を意識させ、それを克服させるための学習目標を立てている。既習の漢字語彙についても、読み書きを復習するだけでなく、意味用法を整理することにより漢字語彙の増強を図り、最終的には大学生活や研究に必要な漢字語彙をインターネットなどで調べたり、参考文献を読んだり、レポートを書いたりできるようになることを目指している。

表 2-1 筑波大学留学生センターにおける日本語コースの漢字初級クラスのレベルと学習内容

| レベル  | 補講科目 | K100A (春学期)/K100B (秋学期)   | K200A (春学期)/K200B (秋学期)   | K300A (春学期)/K300B (秋学期)   | K400A (春学期)/K400B (秋学期)   |
|------|------|---|---|---|---|
|      | 単位科目 | K101 (春学期)/K102 (秋学期)   | K201 (春学期)/K202 (秋学期)   | K301 (春学期)/K302 (秋学期)   | K401 (春学期)/K402 (秋学期)   |
|      |      | <p>【教材】<br/>Basic Kanji Book vol.1 L1~L11</p> <p>【学習目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の表意性を理解し、字形の識別、構造の識別をすることができ。</li> <li>・日常生活においてよく目にする漢字を調べたり、覚え方を工夫したりすることができる。</li> </ul> <p>【学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曜日 (日月火水木金土 L1, 2)</li> <li>・数字 (一二三四五六七八九十百千万 L3)</li> <li>・位置 (上中下前後 L4, L10)</li> <li>・漢字の組み合わせ (明体依好男林森間畑岩 L5)</li> <li>・体の部分 (口目耳手足 L6)</li> <li>・生物 (人女男子牛馬鳥魚貝 L1~7)</li> <li>・基本形容詞の漢字 (大小新古長短高安低明暗多少 L8)</li> <li>・基本動詞の漢字 (行来帰食飲見聞読書読買作泳待 L9)</li> <li>・時の表現 (朝昼晩夜夕方午前毎週曜日月年時分 L10)</li> <li>・漢字の部首 (偏、旁、冠、脚、垂、横、逸) と字形構造 (L11)</li> </ul> <p>【学習・教育方法】<br/>L1, 2は漢字の表意性を解説しながら丁寧に書き方を指導する。L3~L7は漢字の成り立ちなどを教えるためのオリエンテーションとして指導する。L8以降は、語彙として文中で使わせながら指導する。L11では漢字の字形構造を教え、カードを使って組み合わせを考えさせたり、辞書を引く練習をしたります。詳しくはK200レベルで学ぶ。</p> | <p>【教材】<br/>Basic Kanji Book vol.1 L11~L22</p> <p>【学習目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の字形の構造性を理解し、部首、音符などが識別できる。</li> <li>・漢字の訓読みと音読みがわかる。</li> <li>・日常生活および学生生活においてよく目にする漢字を調べたり、覚え方を工夫したりすることができる。</li> </ul> <p>【学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・へんとつくり (人べん、さんずい、言べんなど L11)</li> <li>・かんむりとあし (ウかんむり、草かんむり、雨かんむり、人やねなど L12)</li> <li>・たれとかまえ (まだれ、病だれ、しかばね、国づくり、門構えなど L13)</li> <li>・しんによう、形声文字の音符「青」「寺」「可」(L14)</li> <li>・家族の漢字 (L15)</li> <li>・形容詞の漢字 (L16)</li> <li>・自他動詞の漢字 (L17)</li> <li>・位置関係の漢字 (L18)</li> <li>・場所の接辞 (L19)</li> <li>・住所の漢字 (L20)</li> <li>・する動詞の漢字 (L21)</li> <li>・科目の漢字 (L22)</li> </ul> <p>【学習・教育方法】<br/>L11~14は漢字の構造性を解説しながら、学習者が知っている漢字の部首の見分け方を指導する。L15~L22は、漢字語彙として文中で使わせながら指導する。訓読みと音読みの読み分け練習やテキストだけでなく、学習者の身の回りの漢字を辞書などで調べる練習をしたり、学習方法を工夫させたりする。</p> | <p>【教材】<br/>Basic Kanji Book vol.2 L23~L35</p> <p>【学習目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初級の漢字語彙を覚え、音読み、訓読みの読み分けができる。</li> <li>・漢字を使ったやさしい読み物が読め、簡単な文を書くことができる。</li> </ul> <p>【学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味の漢字 (L23)</li> <li>・反対の動作の漢字 (L24)</li> <li>・結婚の漢字 (L25)</li> <li>・四季の漢字 (L26)</li> <li>・仕事の接辞 (L27)</li> <li>・テスト問題の漢字 (L28)</li> <li>・試験の漢字 (L29)</li> <li>・手へんとさんずいの漢字 (L30)</li> <li>・旅行の漢字 (L31)</li> <li>・交通機関の漢字 (L32)</li> <li>・表示の漢字 (L33)</li> <li>・物の総称の漢字 (L34)</li> <li>・経済の漢字 (L35)</li> </ul> <p>【学習・教育方法】<br/>漢字の音訓の読み分け (単字の場合は訓読みの和語、熟語の場合は音読みの漢語が多いこと) を指導する。漢字語彙として文中で使わせながら指導する。テキストだけでなく、学習した漢字を使って作文させたり、辞書を引きながら読み物を読んだりする練習をする。</p> | <p>【教材】<br/>Basic Kanji Book vol.2 L36~L45</p> <p>【学習目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初級後半の漢字語彙を覚え、音読み、訓読みの読み分けができる。</li> <li>・漢字を使ったやさしい読み物を辞書を使いながら読め、簡単な作文を書くことができる。</li> </ul> <p>【学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感情表現の漢字 (L36)</li> <li>・自他動詞の漢字 (L37)</li> <li>・形容詞の漢字 (L38)</li> <li>・空港の漢字 (L39)</li> <li>・地理の接辞 (L40)</li> <li>・漢字熟語づくり (L41)</li> <li>・大学生活の漢字 (L42)</li> <li>・変化動詞の漢字 (L43)</li> <li>・抽象的表現の漢字 (L44)</li> <li>・抽象的な接辞 (L45)</li> </ul> <p>【学習・教育方法】<br/>漢字の音訓の読み分けを指導しながら漢字語彙として文中で使う練習をする。後半は抽象的な語彙が増えるため、習った漢字を使った読み物を用意して、読み練習をしたり、作文練習をしたりする。中級クラスになると、漢字語彙中心の学習となり、漢字の書き方なども自分で練習することになるため、その準備をしておくための活動を行う。</p> |
| 学習内容 |      |   |   |   |   |

表 2-2 筑波大学留学生センターにおける日本語コースの漢字中上級クラスの内容と学習内容

| レベル  | 補講科目 | K500A (春学期)/K500B (秋学期)  | K600A (春学期)/K600B (秋学期)   | K700A (春学期)/K700B (秋学期)  | K800A (春学期)   | K800B (秋学期)  |
|------|------|--|---|--|---|--|
| 単位科目 |      | K501 (春学期)/K502 (秋学期)  | K601 (春学期)/K602 (秋学期)   | K701 (春学期)/K702 (秋学期)  | K801 (春学期)  | K802 (秋学期)   |
| 学習内容 |      | <p>[教材]<br/>Intermediate Kanji Book vol.1<br/>L1~L5<br/>[学習目標]<br/>・中級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、正確に運用できるようにする。<br/>・学習者自身が自分の弱点に気づき、それを克服するための方法を工夫できるようにする。</p>  | <p>[教材]<br/>Intermediate Kanji Book vol.1<br/>L6~L10<br/>[学習目標]<br/>・中上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、正確に運用できるようにする。<br/>・学習者自身が読みたいものから漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにする方法を工夫できるようにする。</p>   | <p>[教材]<br/>Intermediate Kanji Book vol.2<br/>L1~L5<br/>[学習目標]<br/>・上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、教育・心理学的な文系と、科学技術などの理系の分野によって語彙を適切に使い分けられるようにする。<br/>・学習者自身が読みたいものから漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにする方法を工夫できるようにする。</p>   | <p>[教材]<br/>Intermediate Kanji Book vol.2<br/>L6~L10<br/>[学習目標]<br/>・上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、地球科学、経済・金融、歴史などの専門分野によって語彙を適切に使い分けられるようにする。<br/>・学習者自身が読みたいものから漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにする方法を工夫できるようにする。</p>   | <p>[教材]<br/>Intermediate Kanji Book vol.2<br/>L11~L16<br/>[学習目標]<br/>・上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、医学、栄養学、化学、物理、数学、環境科学、政治、国際関係などの専門分野によって語彙を適切に使い分けられるようにする。<br/>・学習者自身が読みたいものから漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにする方法を工夫できるようにする。</p>  |
|      |      | <p>[学習項目]<br/>・漢字力診断テストで自分の弱点に気づく<br/>・漢字の形、音、意味、用法によるグルーピング (L1)<br/>・反対語・対義語の漢字 (L2)<br/>・漢語動詞の用法 (L3)<br/>・同音の漢字 (L4)<br/>・同音の漢字 (L5)<br/>・形声文字の音符 (復習 1)</p> <p>[学習・教育方法]<br/>テキストの漢字を学習するだけでなく、既習の漢字語彙の読み書き、意味用法などの運用力をつけるために、各学習者の弱点を整理する。インターネットで学習漢字語彙を検索して読み物を探さず、読み練習などに行う。学習した漢字語彙を適切に使う。</p> | <p>[学習項目]<br/>・漢語の語構成 (L6)<br/>・漢語動詞の用法 (L7)<br/>・漢字の意訓 (L8)<br/>・同訓語の漢字 (L9)<br/>・類義語の漢字 (L10)<br/>・形声文字の音符 (復習 2)</p> <p>[学習・教育方法]<br/>テキストの漢字を学習するだけでなく、既習の漢字語彙の読み書き、意味用法などを整理して運用力をつける。インターネットで学習漢字語彙を検索して読み物を探さず、読み練習などに行う。学習した漢字語彙を適切に使う。</p> | <p>[学習項目]<br/>・性格・心理の漢字語彙 (L1)<br/>・教育関係の漢字語彙 (L2)<br/>・新幹線と環境問題の漢字語彙 (L3)<br/>・コンピュータ関係の漢字語彙 (L4)<br/>・航空機と携帯機器の漢字語彙 (L5)</p> <p>[学習・教育方法]<br/>テキストの漢字を学習するだけでなく、初級・中級で既習の漢字を使った未習語彙の存在にも気づかせ、それらの読み書き、意味用法なども整理することにより、上級の漢字語彙運用力をつける。インターネットで学習漢字語彙を検索して読み物を探さず、読み練習などに行う。学習した漢字語彙を適切に使う。</p> | <p>[学習項目]<br/>・地震の漢字語彙 (L6)<br/>・火山・温泉の漢字語彙 (L7)<br/>・経済関係の漢字語彙 (L8)<br/>・金融関係の漢字語彙 (L9)<br/>・歴史関係の漢字語彙 (L10)</p> <p>[学習・教育方法]<br/>テキストの漢字を学習するだけでなく、初級・中級で既習の漢字をも含めて総合的な漢字の読み書き、意味用法などの練習を行う。上級の漢字語彙運用力をつける。インターネットで学習漢字語彙を検索して読み物を探さず、読み練習などに行う。学習した漢字語彙を適切に使う。</p> | <p>[学習項目]<br/>・健康・医学関係の漢字語彙 (L11)<br/>・栄養学・化学関係の漢字語彩 (L12)<br/>・物理・数学関係の漢字語彙 (L13)<br/>・環境問題の漢字語彙 (L14)<br/>・政治関係の漢字語彙 (L15)<br/>・国際関係の漢字語彙 (L16)</p> <p>[学習・教育方法]<br/>テキストの漢字を学習するだけでなく、初級・中級で既習の漢字をも含めて総合的な漢字の読み書き、意味用法などの練習を行う。上級の漢字語彙運用力をつける。インターネットで学習漢字語彙を検索して読み物を探さず、読み練習などに行う。学習した漢字語彙を適切に使う。余力があれば、学習者に自分の専門分野の漢字語彙を集めさせ、練習問題を作らせるなどの活動を行う。</p> |

上級レベル (K700~K800) では、教材として『Intermediate Kanji Book』 vol.2を使用しながら、専門分野別に漢字語彙の意味用法の整理を行うことによって、上級の漢字語彙力をつけることを目標としている。専門分野は大きく分けて、心理 (L1)・教育 (L2)・経済 (L8)・金融 (L9)・歴史 (L10)・政治 (L15)・国際関係 (L16)などの人文社会系と、科学技術 (L3,4,5)・地球科学 (L6,7)・健康医学 (L11)・栄養/化学 (L12)・物理/数学 (L13)・環境科学 (L14)などの自然科学系からなっており、大学院生が専門のレポートや論文を読んだり書いたりするために必要な漢字語彙力を想定している。

このように、各レベルで目標とする漢字に関する学習内容、学習項目を立てるにあたっては、図1に示すような漢字の知識に含まれる4つの情報、すなわち形、音 (読み)、義 (意味) および用法に関する運用力が考慮されている。そして、これら4つの情報に関して、レベルに応じて達成されると思われる漢字に関する知識および運用力を能力記述文、すなわちCdsの形式で記述し、学習者がどの程度達成感を持っているのかを調査することを試みた。

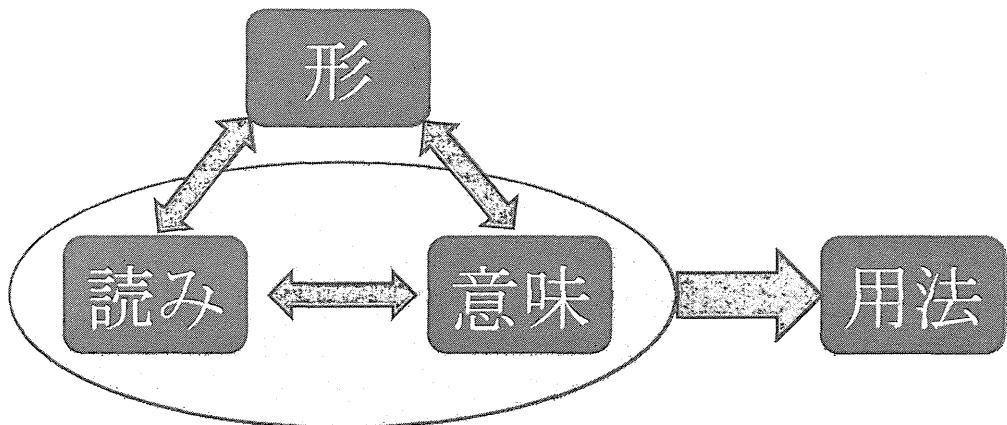


図1 漢字の持つ情報

田納 (1996) によれば、入門期において非漢字圏学習者は、漢字の字形の識別にも困難を感じるが、中級に上がる前の漢字力診断テストの結果、学習が進むにつれて字形は難な識別できるようになり、また漢字を見て意味を理解するところまでは比較的早く達成することが分かっている。しかし、中上級になっても、読みと意味を知っている言葉を漢字で書くこと、つまり字形の再生には依然として問題を抱えている。それに対して漢字圏学習者は、母語における漢字知識の恩恵を受けて、知っている言葉を漢字で書くことに困難を感じないが、逆に、母語からの干渉によって読みを不正確に覚えたり、日中の意法のずれに気づかずに使ってしまったりする傾向があるという結果が出ている。そし

て、このような傾向は、加納・酒井(2003)および加納(2008)で開発された初級漢字力診断テストにおいても指摘されている。

そこで、学習者自身がこのような漢字および漢字語の意味理解、読み、書き、文中での用法などに関して、どのようなことが「できる」と意識しているのか、またどのようなことは「できない」と意識しているのかを探るための能力記述を試みた。さらに、効率的な漢字の教授法の中で取り上げられることが多い、漢字の構成要素である「意符(部首)」や「音符」に関する知識についても、Cds項目に加えた。2013年に試作したCds調査紙(【資料4】を参照)には、50の質問項目が載せてあり、以下の節で詳しく述べるように、意味に関するCdsが18項目、読みに関するCdsが18項目、書きに関するCdsが6項目、用法に関するCdsが6項目、構成要素に関するCdsが2項目、計50項目となっている。そして、それぞれの項目に関して、「4. 強く思う」「3. そう思う」「2. そう思わない」「1. 全然そう思わない」「0. わからない」という5段階評定で評価させた。

### 3. 1 漢字の意味理解に関するCan-do Statements

漢字の形を見て識別することや意味を理解することは、非漢字圏学習者にとっても、比較的早く達成される知識であると言われている(加納 1996)。中級後半レベルの学習者を想定して、漢字および漢字語の意味理解に関する以下の18項目のCdsを用意した。(番号は、【資料4】に載せた調査紙における通し番号である。)

1. 「山」「川」「木」などの漢字をみて、その**意味**がわかる
2. 「月」「火」「水」などの曜日の漢字をみて、その**意味**がわかる
3. 「五十円」「三百円」など、漢字の数字で書かれたねだんの**意味**がわかる
4. えきの「北口」「東口」「西口」「南口」などの**意味**がわかる
5. 「目」「口」「手」「足」など、体の部分の漢字の**意味**がわかる
6. 「魚」「鳥」「馬」「牛」など、どうぶつの漢字の**意味**がわかる
7. 「父」「母」「兄」「弟」など、家族をあらわす漢字の**意味**がわかる
8. 「上」「下」「中」「前」など、位置をあらわす漢字の**意味**がわかる
9. 「女」と「子」で「好き」、「日」と「月」で「明るい」など、組み合わせでできた漢字の**意味**がわかる
10. 「言」「糸」「攴」「雨」など、漢字の部首の**意味**がわかる
26. 日常生活でよくみる漢字語の**意味**がわかる
29. 自分の専門分野でよくみる漢字語の**意味**がわかる
41. 3字漢語、5字漢語などの長い漢字語を見て、**意味**の構成がわかる
43. 「勝つ」の反義語、「収入」の反義語、「拡大する」の反義語などがわかる

- 44. 「愛読する」「暴落する」「常用する」などの漢語動詞の意味用法がわかる
- 45. 「危険」「健康」「豊富」「深刻」などの漢語形容詞の意味用法がわかる
- 48. 「務める」と「努める」と「勤める」など同じ読みの語の意味用法の違いがわかる
- 49. 「習慣」と「慣習」と「慣例」と「風習」など、類義語の意味用法の違いがわかる

中級後半レベルの学習者を調査協力者として想定したため、初級段階で意味理解が達成されていると思われる漢字および部首として、1.～10.のような代表的な初級漢字に絞った。中級の漢字および漢字語は数が多く、絞りきれないため、26.と29.のように一般的な運用力を記述する文にした。41.～49.は、中級段階で達成目標となる漢字・漢語知識の整理に関する能力記述で、実際の中級漢字クラスにおいては、漢字圏学習者でも難しいと言われているものである。

### 3. 2 漢字の読みに関するCan-do Statements

加納（1996）によれば、漢字および漢字語の読みは、非漢字圏、漢字圏を問わず、最も達成が難しいと言われている。用意したCdsは以下の18項目である。（番号は、【資料4】に載せた調査紙における通し番号である。）

- 12. 漢字の読み方はひとつだけではないこと（音読みと訓読み）がわかる
- 14. 「大きい」「小さい」「長い」「古い」など、易しい形容詞の漢字が読める
- 15. 「行く」「来る」「食べる」「話す」など、やさしい動詞の漢字が読める
- 16. 「朝」「晩」「毎日」「今週」など、時をあらわす漢字が読める
- 17. 「元気」「不便」「有名」など、やさしいナ形容詞の漢字が読める
- 18. 「父」「母」「兄」「弟」など、家族をあらわす漢字が読める
- 19. 「上」「下」「中」「前」など、位置をあらわす漢字が読める
- 20. 「図書館」「駅」「病院」など、場所をあらわす漢字が読める
- 21. 「練習する」「質問する」「研究する」などの漢語動詞が読める
- 22. 「文学」「歴史」「政治」「経済」など、科目の漢字が読める
- 27. 日常生活でよくみる漢字語の読み方がわかる
- 30. 自分の専門分野でよくみる漢字語の読み方がわかる
- 34. 音読みの漢字語なら、だいたい読める
- 35. 訓読みのことばなら、だいたい読める
- 36. 特別な読み方のことばでも、だいたい読める
- 40. 知らない漢字でも、音符がふくまれている漢字なら読み方が推測できる
- 46. 「怒り」と「怒る」、「著しい」と「著す」、「頼む」と「頼る」など、異なる訓読みがわかる

47. 「精神」と「精進」、「希望」と「所望」、「重役」と「使役」など、異なる音読みがわかる

12.は入門期において導入される知識であり、14.~22.は初級で習う漢字語である。中級の漢字および漢字語は数が多く、絞りきれないため、27.と30.のように一般的な運用力を記述する文にした。項目27.と30.は、項目26.と29. (意味理解)、および項目28.と31. (書き)にそれぞれ対応した記述文になっており、同じ漢字語について意味理解と読みと書きでは運用力の意識が異なるのかどうかをみるための項目となっている。34.~36.は、調査協力者がどの程度自分の読みの力を客観的に評価できているかをみるために設定した項目である。たとえば、中級後半レベルの漢字圏学習者の場合、34.に対する回答より35.および36.に対する回答の方が低い評価をつける可能性が高いはずであるが、どのような回答をしているかをみることによって、回答者の自己評価力が推定できるのではないかと考えた。46.と47.は、中級段階で達成目標となる漢字・漢語の読みに関する能力記述であり、実際の中級漢字クラスにおいて難しいとされているものである。

### 3. 3 漢字の書きに関するCan-do Statements

漢字の書きについても、上記の意味、読みに対応する数のCds項目を揃えることが可能であったが、非漢字圏学習者にとっては、中級段階になっても「書き」が難しい項目であることが分かっているため、「書き」に関するCdsは6項目に止めた。50を越える数のCdsに回答を求めるのは、調査協力者の負担が大きくなりすぎることと、「できない」と回答する項目数が増えることが非漢字圏学習者に無力感を与えかねないことによる。

28. 日常生活でよくみる漢字語を自分で書ける

31. 自分の専門分野でよくみる漢字語を自分で書ける

37. 知っていることばなら、漢字で正しく書ける

38. ワープロを使えば、正しい漢字が選べる (書ける)

39. 「糸へん」「雨かんむり」「門がまえ」など、よく使われる漢字の部首が書ける

50. 「こうがい」「ほけん」「きげん」などの同音語を漢字で書くことができる

37.と38.を並べたのは、昨今、手書きで漢字を書く必要がなくなってきており、実生活においてはワープロによる「書き」の方が必要度が高いことが言われているためである。学習者の漢字の「書き」の実態を知る上でも、有用な項目であると思われる。50.は、中級段階で達成目標となる漢字語の書きに関する能力記述であり、実際の中級漢字クラスにおいて漢字圏学習者にとっても難しいとされている項目である。

### 3. 4 漢字の用法に関するCan-do Statements

漢字および漢字語の意味と用法は、中級レベルになると切り離せないことも多く、3.1の意味のCdsところで挙げた44.、45.、48.、49.などもここに入る可能性があるが、ここでは「用法」に限定した6項目を挙げる。

- 23. 「運転手」の「手」、「音楽家」の「家」、「会社員」の「員」などの接尾辞の**用法**がわかる
- 24. 「無意味」の「無」、「不自由」の「不」、「非公式」の「非」など接頭辞の**用法**がわかる
- 25. 「増える」と「増加する」、「減る」と「減少する」、「移る」と「移動する」など、和語動詞と漢語動詞の**用法**のちがいがわかる
- 32. 漢字のことばを見ると、名詞か、動詞か、形容詞かなど、その**品詞**がわかる
- 33. 漢字のことばを文中で正しく**使う**ことができる
- 42. 「再」「超」「総」「値」「帯」「率」など、接頭辞や接尾辞になる漢字の**用法**がわかる

23.は接尾辞となる漢字の用法、24.は接頭辞となる否定の意味の漢字の用法、42.は接辞の漢字全般の用法に関するCdsであり、中級段階で達成目標となる漢字語の語構成の知識に関わる能力記述である。また、実際の中級漢字クラスにおいては、25.のような語種による漢字語の意味用法の違いや、32.のような品詞性の問題が、漢字圏学習者にとっても非漢字圏学習者にとっても難しい学習項目となっている。さらに、33.のようなCdsに自信を持って「5」と回答できるのは、上級レベルになってからだと思われるが、中級段階の学習者が自己の能力をどのように評価するかをみるための項目となっている。

### 3. 5 漢字の構成要素に関するCan-do Statements

漢字の部首（意符）や形声文字の音符といった構成要素に関する知識に対する学習者の「できる」意識をみるために、以下の5項目を用意した。ただし、10.は意味、39.は書き、40.は読みに関する能力記述と重なっているため、構成要素だけに関わっている項目は、11.と13.の2項目のみである。

- 10. 「言」「糸」「攴」「雨」など、漢字の部首の意味がわかる
- 11. 「へん」「つくり」「かんむり」「あし」「によう」など、漢字の部首がわかる
- 13. 「青」「可」「義」など、漢字の音読みをあらわす音符がわかる
- 39. 「糸へん」「雨かんむり」「門がまえ」など、よく使われる漢字の部首が書ける
- 40. 知らない漢字でも、音符がふくまれている漢字なら、読み方が推測できる

効率的な漢字の学習法として、部首（意符）や音符など、漢字の構成要素に関する知識

が取り上げられることが多いが、実際に学習者がこれらをどの程度「わかる」「できる」と意識しているのかをみるのが目的である。

#### 4. 調査から見えてくるもの

今回のCds調査は以下のように実施され、調査協力者は120名いたが、同時に行った漢字SPOTテスト（加納 2009, 2010）の結果により、明らかに初級と思われる協力者は対象から外したため、調査対象は117名の中上級者のみとなった。

調査時期：2013年2月～3月

調査場所：筑波大学留学生センターなど

調査対象：117名 非漢字圏 34名（うち韓国10名）

漢字圏 83名

117名の調査協力者の漢字SPOTのテストの結果は表3のようであった。

表3 調査協力者（117名）の漢字SPOTテストの結果

|                 | 100%～<br>95% | 94%～<br>90% | 89%～<br>85% | 84%～<br>80% | 79%～<br>75% | 74%～<br>70% | 69%以下 |
|-----------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------|
| 非漢字圏 (34名)      | 5名           | 3名          | 4名          | 9名          | 6名          | 2名          | 5名    |
| 漢字圏 (83名)       | 22名          | 26名         | 12名         | 12名         | 2名          | 5名          | 4名    |
| 全体の平均<br>(117名) | 27名          | 29名         | 16名         | 21名         | 8名          | 7名          | 9名    |

漢字SPOTの正答率の平均は、非漢字圏が78%、漢字圏が87%となっている。図2をみると分かるように、非漢字圏では、正答率84%～80%の学習者が最も多かったのに対して、漢字圏では90%以上の学習者が多く、天井効果を示していることがわかる。

一方、Cds調査における評価の平均をまとめたのが表4である。非漢字圏においては、意味、読み、用法に関する自己評価と比べて、書きに関する自己評価が著しく低いことがわかる。一方、漢字圏学習者の方も、得意なはずの書きに関する自己評価が伸びていないことがわかる。漢字圏学習者は、全体的に各項目の評価差が少なく、「自己評価」というものに対して不慣れなためか、正しく評価できていないということが推測される。構成要素に関しては、非漢字圏、漢字圏を問わず「できる」意識が低いことが指摘できる。

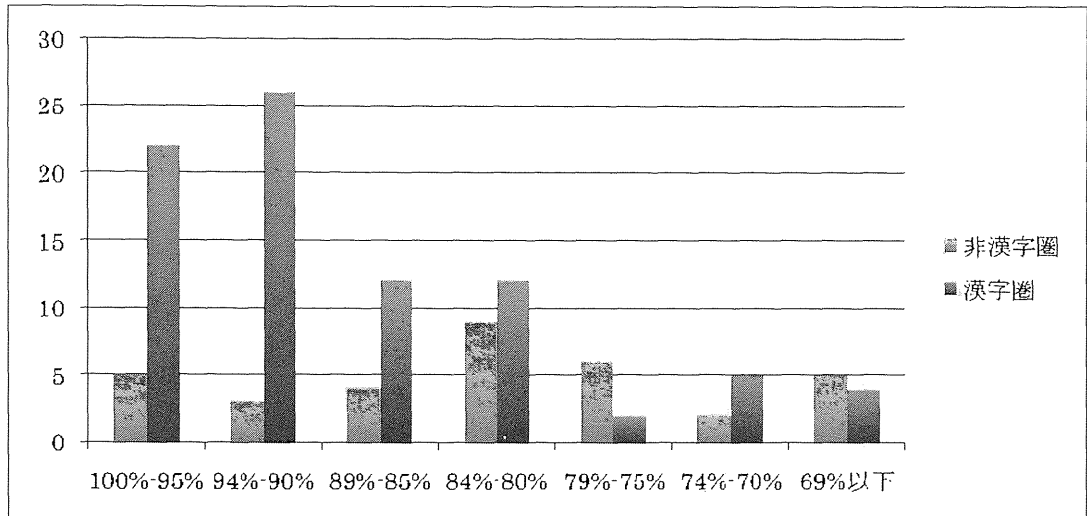


図2 117名の調査協力者の漢字SPOTテストの結果

表4 漢字に関するCds調査の結果

|              | 意味のCds | 読みのCds | 用法のCds | 書きのCds | 構成要素のCds |
|--------------|--------|--------|--------|--------|----------|
| 非漢字圏 (34名)   | 3.8    | 3.5    | 3.4    | 2.7    | 2.9      |
| 漢字圏 (83名)    | 3.6    | 3.4    | 3.2    | 3.2    | 2.9      |
| 全体の平均 (117名) | 3.7    | 3.4    | 3.3    | 3.0    | 2.9      |

調査結果をまとめると、以下のようになる。

- (1) 漢字圏学習者だけでなく、非漢字圏学習者も漢字を見て意味がわかるという意識はかなり高い。
- (2) 漢字の構成要素に関する「できる」意識は、漢字圏、非漢字圏を問わずあまり高くない。
- (3) 漢字の運用力があると思われる中上級者であっても、非漢字圏の場合、「書けない」という意識が強い。
- (4) 漢字圏学習者は運用力に関わらず、「できる」意識があまり高くない。あるいは自己評価というものに慣れておらず、正しく評価できていない可能性もあると思われる。

(1)と(3)は、加納・酒井 (2003) および加納 (2008) でも指摘されたことであり、それらを裏付ける結果となっている。一方、(2)の結果については、中級段階の漢字クラスにおい

て漢字の構成要素の利用が必要な学習項目となっているにもかかわらず、その成果が上がっていないということを意味するのか、さらなる検討を要する。また、漢字圏学習者の中にも非漢字圏学習者の中にも、当然のことながら、自分の能力を過大評価する傾向にある者と、過小評価する傾向にある者が見られた。しかし全体的には、漢字圏学習者の中に自分の能力を客観的に評価できていないと思われる者が多く見られた。したがって、このような能力記述文による自己評価をプレースメントなどに使うためには、特に漢字学習者に対して、自己評価についての適切なトレーニングを行う必要があることが窺える。

## 5. おわりに

本稿では、留学生センターにおける初級から上級までの漢字クラスの学習目標、授業内容などから、漢字の形、音（読み）、義（意味）および用法という4情報の観点に構成要素に関する知識を加えて、漢字に関するCds形式による能力記述を試みた。2013年2月～3月に実施した調査結果を検討したが、調査協力者の数が漢字圏学習者に偏っていることから、今後、非漢字圏学習者と韓国の学習者の数を増やし、検討を続ける必要があると思われる。

また、学習者別にも、実際に運用力テストの成績がよい学習者と、あまりよくない学習者について、Cds調査への回答内容と比較対照して、どのような自己評価の傾向が見られるかについて詳しく検討しなければならない。

さらに、Cds調査の項目の妥当性を検討するとともに、調査に協力してくれた学習者たちが実際に何を考えて自己評価を行っているのか、量的調査だけでなく質的調査の必要もあると考える。

※この研究は、2013年度科学研究費補助金基盤研究(B)「日本語教育スタンダードにおける漢字力の評価に関する研究」(研究課題番号:23320102)からの助成を受けている。

## 注

1. マリア・ガブリエラ・シュミットほか(2010)『日本と諸外国の言語教育におけるCan-Do評価』を参照。
2. 国際交流基金(2010)『JF日本語教育スタンダード2010』を参照。
3. 「みんなのCan-doサイト」は、国際交流基金が運営する公式サイト「JF日本語教育スタンダード」(<http://jfstandard.jp/>)から入ることができる。
4. 加納ほか(1993)のpp.1～8に載っているテストで、中級の漢字学習を始める際の事前診断テストとして作成されたものである。漢字の読み書きの力だけでなく、字形認識、意味理解、漢字語の語構成、文脈による用法、品詞、送りがな、音読み力などを12

の項目でチェックし、その診断結果をグラフで表示することにより、学習者に自分の弱点に気づかせる効果があるとされている。村上ほか（2013）の第2章第5節「文字・語彙の評価」（pp.141-169）にも漢字力診断テストの説明がある。

## 参考文献

- 加納千恵子・清水百合・竹中弘子・石井恵理子・阿久津智（1993）『Intermediate Kanji Book』vol.1、凡人社
- 加納千恵子（1996）「非漢字圏学習者の漢字力と習得過程」『日本語教育論文集—小出詞子先生退職記念—』凡人社：257-268
- 加納千恵子・酒井たか子（2003）「漢字処理能力測定テストの開発」筑波大学留学生センター『日本語教育論集』18号：59-80
- 加納千恵子（2008）「レベル別漢字語彙処理能力テストの問題形式 —WEB漢字テストのマルチレベル化に向けて—」筑波大学留学生センター『日本語教育論集』23号：1-13
- 加納千恵子（2009）「漢字語彙の音声処理能力を探る —漢字SPOTの開発と課題—」筑波大学留学生センター『日本語教育論集』24号：1-17
- 加納千恵子（2010）「コラム3 漢字力の評価法 —知識と運用力の評価—」濱川祐紀代編『日本語教師のための実践・漢字指導』くろしお出版：80-183
- 加納千恵子（2012）「日本語の漢字語彙処理能力測定のためのテスト —テスト項目とテスト形式の検討—」修剛・李運博編『新時代的世界日語教育研究』高等教育出版社：73-81
- 国際交流基金（2010）『JF日本語教育スタンダード2010』
- マリア ガブリエラ シュミット・長沼君主・ファーガス オドワイヤー・アレクサンダー イミック・境一三編（2010）『日本と諸外国の言語教育におけるCan-Do評価 —ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の適用—』朝日出版社
- 村上京子・加納千恵子・衣川隆生・小林典子・酒井たか子／関正昭・平高史也編（2013）『日本語教育叢書「つくる」 テストを作る』スリーエーネットワーク

## 【資料1】JFスタンダードおよびCEFRのA1レベルの読み(受容)の能力記述文

| 種別   | レベル | カテゴリー      | Can-do本文(日本語)  | トピック    |
|------|-----|------------|--|---------|
| JF   | A1  | 必要な情報を探し出す | 郵便物やメールなどの宛名を見て、自分宛かどうかを確認することができる。  | 人との関係   |
| JF   | A1  | 必要な情報を探し出す | 大学のゼミの発表スケジュールを見て、自分の名前と発表日を確認することができる。  | 学校と教育   |
| JF   | A1  | 情報や要点を読み取る | お店やレストランの外に貼ってある休業のお知らせなどを見て、休みであることやその期間など、ごく基本的な情報を理解することができる。                     | 買い物     |
| JF   | A1  | 情報や要点を読み取る | ファーストフード店やレストランなどでメニューを見て、自分が知っている食べ物や飲み物の名前など、いくつかの情報を理解することができる。                   | 食生活     |
| CEFR | A1  | 必要な情報を探し出す | 日常のよくある状況下で、簡単な掲示の中から身近な名前や語、基本的な表現が分かる。   |         |
| JF   | A1  | 情報や要点を読み取る | 辞書を使うことができれば、料理のレシピにある材料のリストの部分を見て、何がどのくらい必要か、理解することができる。                            | 食生活     |
| CEFR | A1  | 情報や要点を読み取る | 簡単な情報文の内容や、簡潔な記述文の概要を把握することができる。特に視覚的な補助があれば、さらに容易に概要が把握できる。                         |         |
| JF   | A1  | 説明を読む      | ドアにある「押す」「引く」や、施設内の「入口」「出口」など、生活の中でよく見かける非常に短い表示を見て、理解することができる。                      | 住まいと住環境 |
| CEFR | A1  | 説明を読む      | (例えば、XからYへ行くための) 短い、簡潔に書かれた方向指示を理解できる。   |         |
| CEFR | A1  | 読むこと全般     | 非常に短い簡単なテキストを、身近な名前、単語や基本的な表現を一つずつ取り上げて、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。           |         |
| JF   | A1  | 手紙やメールを読む  | 職場で、「16:00までに50部コピー」など、コピーの指示が書かれた上司からの短い簡単なメモを読んで、理解することができる。                       | 仕事と職業   |
| JF   | A1  | 手紙やメールを読む  | 職場の連絡用ホワイトボードなどに書き込まれた外出先や戻る時間など、短い簡単なメモを読んで、理解することができる。                             | 仕事と職業   |
| JF   | A1  | 手紙やメールを読む  | 旅先からの家族や友人の短い簡単な文で書かれたはがきやメールなどを読んで、どこへ行ったか、何をしたかを理解することができる。                        | 旅行と交通   |
| JF   | A1  | 手紙やメールを読む  | 友人からの年賀状や誕生日カードに書いてある「あけましておめでとうございます」「お誕生日おめでとうございます」など、定型の簡単なメッセージを読んで、理解することができる。 | 人との関係   |
| CEFR | A1  | 手紙やメールを読む  | 葉書の短い簡単なメッセージを理解することができる。  |         |
| JF   | A1  | 必要な情報を探し出す | 地域で有名な祭りなど、催し物のポスターを見て、開催日、場所など、ごく基本的な情報を探し出すことができる。                                 | 自由時間と娯楽 |
| JF   | A1  | 必要な情報を探し出す | パーティの招待状などを見て、日時や場所など、ごく基本的な情報を探し出すことができる。   | 自由時間と娯楽 |
| JF   | A1  | 必要な情報を探し出す | 新幹線や飛行機などの切符を見て、出発時刻や座席番号など、ごく基本的な情報を探し出すことができる。                                     | 旅行と交通   |
| JF   | A1  | 必要な情報を探し出す | お店やレストランの前にある看板や表示を見て、営業時間や定休日など、ごく基本的な情報を探し出すことができる。                                | 買い物     |

## 【資料2】 JFスタンダードA2レベルの読み(受容)の能力記述文

| 種別 | レベル | カテゴリー      | Can-do本文(日本語)  | トピック    |
|----|-----|------------|--|---------|
| JF | A2  | 情報や要点を読み取る | 学園祭などの学校行事を報告する短い簡単な校内新聞の記事などを読んで、当日の人出や様子など、いくつかの情報を理解することができる。 | 学校と教育   |
| JF | A2  | 情報や要点を読み取る | 簡単なセリフで書かれていれば、四コマ漫画を読んで、内容をだいたい理解することができる。                      | 言語と文化   |
| JF | A2  | 説明を読む      | キャンプ場の案内板などの短い簡単な説明を読んで、禁止や注意事項など、いくつかの情報を理解することができる。            | 自由時間と娯楽 |
| JF | A2  | 手紙やメールを読む  | 事務用品を注文し、ファックスやメールで送られてきた請求書を読んで、注文内容と違いがないかを確認することができる。         | 仕事と職業   |
| JF | A2  | 手紙やメールを読む  | 旅行中の出来事について書かれた家族や友人からの短い簡単なはがきやメールなどを読んで、内容を大まかに理解することができる。     | 旅行と交通   |
| JF | A2  | 手紙やメールを読む  | 短い簡単な文で書かれた友人からのお礼の手紙やメールなどを読んで、内容を大まかに理解することができる。               | 人との関係   |
| JF | A2  | 必要な情報を探し出す | ごみ収集所の掲示などの短い簡単なテキストを見て、捨てたいごみは何曜日に捨てられるかなど、必要な情報を探し出すことができる。    | 生活と人生   |
| JF | A2  | 必要な情報を探し出す | 店に貼り出してある求人広告などの短い簡単なテキストを見て、時給や勤務時間など、必要な情報を探し出すことができる。         | 仕事と職業   |
| JF | A2  | 必要な情報を探し出す | 旅行パンフレットやガイドブックなどの短い簡単なテキストを見て、主な名所やお店など必要な情報を探し出すことができる。        | 旅行と交通   |
| JF | A2  | 必要な情報を探し出す | 薬箱に書かれている注意書きなどの短い簡単なテキストを見て、用法・用量など、必要な情報を探し出すことができる。           | 健康      |
| JF | A2  | 必要な情報を探し出す | お店のクーポン券などの短い簡単なテキストを見て、使用期間や条件など、必要な情報を探し出すことができる。              | 買い物     |
| JF | A2  | 必要な情報を探し出す | 学校の掲示板などの短い簡単なお知らせを見て、休講や教室変更など、必要な情報を探し出すことができる。                | 学校と教育   |
| JF | A2  | 情報や要点を読み取る | 好きなスポーツに関する短い簡単な新聞記事などを読んで、試合の勝敗や好きな選手の活躍など、いくつかの情報を理解することができる。  | 自由時間と娯楽 |

## 【資料3】 JFスタンダードA2レベルの書き（産出）の能力記述文

| 種別 | レベル | カテゴリー | Can-do本文（日本語）  | トピック    |
|----|-----|-------|--|---------|
| JF | A2  | 作文を書く | 友人の結婚式などの感想を、短い簡単な文でブログなどに書くことができる。                        | 人との関係   |
| JF | A2  | 作文を書く | ホームステイ中の発見や失敗などの出来事を短い簡単な文でブログなどに書くことができる。                 | 言語と文化   |
| JF | A2  | 作文を書く | 自分の町の紹介文を短い簡単な文でブログなどに書くことができる。                            | 自分と家族   |
| JF | A2  | 作文を書く | 自分自身や家族、仕事、趣味など、基本的なことについての自己紹介文を短い簡単な文でブログなどに書くことができる。    | 自分と家族   |
| JF | A2  | 作文を書く | スーパーや学校などの掲示板に載せるために、スポーツチームのメンバー募集の広告文などを短い簡単な文で書くことができる。 | 自由時間と娯楽 |
| JF | A2  | 作文を書く | 自分が通っているスポーツクラブの設備やレッスンなどの感想を短い簡単な文でブログなどに書くことができる。        | 自由時間と娯楽 |
| JF | A2  | 作文を書く | 自分自身や家族、仕事、趣味など、基本的なことについての自己紹介文を短い簡単な文で社内報などに書くことができる。    | 仕事と職業   |
| JF | A2  | 作文を書く | デジタルカメラなど、新しく買った物の感想を短い簡単な文でブログなどに書くことができる。                | 買い物     |
| JF | A2  | 作文を書く | 簡単な言葉をつなげて、自然や環境を題材にした詩や俳句、標語などを作ることができる。                  | 自然と環境   |

【資料4】漢字に関するCds調査用紙（日本語/英語版）

漢字学習に関する Can-do Statements 調査  
Can-do Statements Survey on Japanese Kanji Learning

下の文を読んで、今、あなたにそれができるかどうか考え、{4, 3, 2, 1, 0}で答えてください。  
Can you do the things described in the following sentences? Please answer with {4, 3, 2, 1, 0}.

4. 強くそう思う 3.そう思う 2.そう思わない 1.全然そう思わない 0.わからない  
4. I strongly agree 3. I agree 2. I do not agree 1. I do not agree at all 0. I do not know
1. 「山」「川」「木」などの漢字をみて、その意味がわかる 4-3-2-1-0  
I can understand the meaning of the Kanji like 山, 川, 木, etc.
2. 「月」「火」「水」などの曜日の漢字をみて、その意味がわかる 4-3-2-1-0  
I can understand the meaning of the Kanji for days of the week, like 月, 火, 水, etc.
3. 「五十円」「三百円」など漢字の数字で書いてあるねだんがわかる 4-3-2-1-0  
I can understand prices indicated with Kanji numbers, like五十円, 三百円, etc.
4. えきの「北口」「東口」「西口」「南口」などの意味がわかる 4-3-2-1-0  
I can understand signs like 北口, 東口, 西口, 南口. etc. at the train station.
5. 「目」「口」「手」「足」など体の部分の漢字がわかる 4-3-2-1-0  
I can understand the meanings of Kanji for parts of the body, like 目, 口, 手, 足, etc.
6. 「魚」「鳥」「馬」「牛」などどうぶつの漢字がわかる 4-3-2-1-0  
I can understand the meanings of Kanji for animals, like 魚, 鳥, 馬, 牛, etc.
7. 「父」「母」「兄」「妹」など、家族をあらわす漢字がわかる 4-3-2-1-0  
I can understand the meanings of Kanji for family members, like 父, 母, 兄, 妹, etc.
8. 「上」「下」「中」「前」など、位置をあらわす漢字がわかる 4-3-2-1-0  
I can understand the meanings of Kanji for positions, like 上, 下, 中, 前, etc.
9. 「女」と「子」で「好」、「日」と「月」で「明」など、漢字の組み合わせで意味がわかる  
I can understand the meanings of Kanji by understanding the combination of their parts,  
like 好 from 女 and 子, and 明 from 日 and 月, etc. 4-3-2-1-0
10. 「言」「糸」「父」「雨」など、漢字の部首の意味がわかる  
I can understand the meanings of the “radicals” of Kanji like 言, 糸, 父, 雨, etc. 4-3-2-1-0
11. 「へん」「つくり」「かんむり」「あし」「にょう」など、漢字の部首がわかる  
I know the different kinds of “radicals” of Kanji, like へん, つくり, かんむり, あし, にょう, etc. 4-3-2-1-0

12. 漢字の読み方はひとつだけではない（音読みと訓読みがある）ことがわかる  
I know that there is more than one way to read a Kanji (i.e., there are ON-readings and KUN-readings). 4 - 3 - 2 - 1 - 0
13. 「青」「可」「義」など、漢字の音読みをあらわす「音符」がわかる 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can recognize the "ON-reading markers" of Kanji, like 青, 可, 義, etc.
14. 「大きい」「小さい」「長い」「古い」など、やさしい形容詞の漢字が読める  
I can read basic adjectives, like 大きい, 小さい, 長い, 古い, etc. 4 - 3 - 2 - 1 - 0
15. 「行く」「来る」「食べる」「話す」など、やさしい動詞の漢字が読める  
I can read basic verbs, like 行く, 来る, 食べる, 話す, etc. 4 - 3 - 2 - 1 - 0
16. 「朝」「晩」「毎日」「今週」など、時をあらわす漢字が読める 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can read time expressions, like 朝, 晩, 毎日, 今週, etc.
17. 「元気」「不便」「有名」など、やさしいナ形容詞の漢字が読める 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can read basic na-adjectives, like 元気, 不便, 有名, etc.
18. 「父」「母」「兄」「妹」など、家族をあらわす漢字が読める 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can read Kanji for the family members, like 父, 母, 兄, 妹, etc.
19. 「上」「下」「中」「前」など、位置をあらわす漢字が読める 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can read Kanji for positions, like 上, 下, 中, 前, etc.
20. 「図書館」「駅」「病院」など、場所をあらわす漢字が読める 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can read Kanji for places, like 図書館, 駅, 病院, etc.
21. 「練習する」「質問する」「研究する」などの漢語動詞が読める 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can read Kanji verbs, like 練習する, 質問する, 研究する, etc.
22. 「文学」「歴史」「政治」「経済」など、科目の漢字が読める 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can read Kanji for academic subjects, like 文学, 歴史, 政治, 経済, etc.
23. 「運転手」の「手」、「音楽家」の「家」、「会社員」の「員」などの接尾辞の使い方がわかる  
I can use Kanji suffixes, like 手 for 運転手, 家 for 音楽家, 員 for 会社員, etc. 4 - 3 - 2 - 1 - 0
24. 「無意味」の「無」、「不自由」の「不」、「非公式」の「非」などの接頭辞の使い方がわかる  
I can use Kanji prefixes, like 無 for 無意味, 不 for 不自由, 非 for 非公式, etc. 4 - 3 - 2 - 1 - 0
25. 「増える」と「増加する」、「減る」と「減少する」、「移る」と「移動する」など、和語動詞と漢語動詞の使い方のちがいがわかる 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can understand the different usages of native Japanese verbs and Chinese-origin verbs, like 増える and 増加する, 減る and 減少する, 移る and 移動する, etc.
26. <sup>にちじょうせいかつ</sup>日常生活でよく見る漢字語の意味がわかる 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can understand most of the Kanji words appearing in daily life.
27. 日常生活でよく見る漢字語の読み方がわかる 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can read most of the Kanji words appearing in daily life.

28. 日常生活でよく見る漢字語を自分で書ける 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can write most of the Kanji words appearing in daily life.
29. 自分の専門分野<sup>せんもんぶんや</sup>でよく見る漢字語の意味がわかる 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can understand most of the Kanji words appearing in my specific academic field.
30. 自分の専門分野でよく見る漢字語の読み方がわかる 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can read most of the Kanji words appearing in my specific academic field.
31. 自分の専門分野でよく見る漢字語を自分で書ける 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can write most of the Kanji words appearing in my specific academic field.
32. 漢字のことばを見ると、名詞か、動詞か、形容詞かなど、その品詞がわかる  
I can recognize which part of speech (nouns, verbs, adjectives, etc.) Kanji words belong to. 4 - 3 - 2 - 1 - 0
33. 漢字のことばを文中で正しく使うことができる 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can use Kanji words properly in the sentences.
34. 音読み<sup>おんよみ</sup>の漢字語なら、だいたい読める 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can read most Kanji words which use the ON-reading.
35. 訓読み<sup>くんよみ</sup>のことばなら、だいたい読める 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can read most Kanji words which use the KUN-reading.
36. 特別な読み方のことばでも、だいたい読める 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can read most of words, even if they use a special reading.
37. 知っていることばなら、漢字で正しく書ける 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
I can correctly write most of the words I know.
38. ワードプロを使えば、正しい漢字が選べる 4 - 3 - 2 - 1 - 0  
When using a word processor, I can choose the correct Kanji.
39. 「糸へん」「雨かんむり」「門がまえ」など、よく使われる部首の漢字が書ける  
I can write Kanji which contain frequently used radicals, like 糸, 雨, 門, etc.. 4 - 3 - 2 - 1 - 0
40. 知らない漢字でも、「音符」がふくまれている漢字なら、読み方がすいそくできる  
I can guess the reading of an unknown Kanji from the On-reading marker. 4 - 3 - 2 - 1 - 0
41. 3字漢語、4字漢語、5字漢語などの長い漢字のことばを見て、意味の構成がわかる  
I can understand the meaning structure of long Kanji words consisting of 3, 4, or 5 Kanji. 4 - 3 - 2 - 1 - 0
42. 「再」「超」「総」「値」「帯」「率」など、接頭辞や接尾辞になる漢字の使い方がわかる  
I can use Kanji prefixes and suffixes, like 再, 超, 総 and 値, 帯, 率, etc. 4 - 3 - 2 - 1 - 0

43. 「勝つ」の反対語、「硬い」の反対語、「収入」の反対ゴ、「拡大する」の反対語などがわかる  
I know the antonyms of勝つ, 硬い, 収入, 拡大する, etc., 4-3-2-1-0
44. 「愛読する」「暴落する」「常用する」などの漢語動詞の意味用法がわかる  
I can understand and use the Kango verbs like愛読する, 暴落する, 常用する, etc., 4-3-2-1-0
45. 「危険」「健康」「豊富」「深刻」などの漢語形容詞の意味用法がわかる  
I can understand and use the Kango adjectives like危険, 健康, 豊富and深刻, etc., 4-3-2-1-0
46. 「怒り」と「怒る」、「著しい」と「著す」、「頼む」と「頼る」など、異なる訓読みがわかる  
I know the different KUN-readings like怒り and怒る, 著しい and著す, 頼む and頼る, etc., 4-3-2-1-0
47. 「精神」と「精進」、「希望」と「所望」、「重役」と「使役」など、異なる音読みがわかる  
I know the different ON-readings like精神 and精進, 希望 and所望, 重役 and使役, etc., 4-3-2-1-0
48. 「務める」と「努める」と「勤める」など、同じ読みのことばの意味用法の違いがわかる  
I know the differences of usage of the words with the same reading, like務める, 努める and勤める, etc., 4-3-2-1-0
49. 「習慣」と「慣習」と「慣例」と「風習」など、類義語の意味用法の違いがわかる  
I know the differences of usage of the synonyms like習慣, 慣習, 慣例and風習, etc., 4-3-2-1-0
50. 「こうがい」、「ほけん」、「きげん」などの同音語を漢字で書くことができる  
I can write Kanji for the homonyms of こうがい, ほけん andきげん, etc., 4-3-2-1-0